

阿波尾鶏中華そば藍庵



## 松田さんにインタビュー



### 阿波尾鶏中華そば藍庵

「美波町門前町再生化（古民家活用）」\* 応募し、阿波尾鶏をはじめ地元食材を使った薬膳ラーメン藍庵を2018年にオープン。

\*店舗が相次いで閉店し、寂しくなってしまった薬王寺門前の通りに少しでも賑わいと活力を取り戻すべく平成27年よりスタートさせた薬王寺門前町の再生事業

Q 美波町にお店を出した理由は？

A 友人がいるご縁で何度も美波町に来ていて、秋祭りなどにも参加していました。正月に道の駅日和佐でラーメンを出すと、遠方からもたくさんの方が来てくれるなど可能性を感じていました。また、東京でラーメン屋を出して10年近くが経ち、2軒目を出したいと考えていたタイミングで、美波町が公募している事業を知り、お店を出すことにしました。

Q 美波町に来る時に楽しみにしていることは？

A 熱量がすごい秋祭りが楽しみでした。さらに、お店を出してからは、生産者との距離の近さが面白いと感じています。東京だと直接会えない農家さんや漁師さんにお話を聞くことができるのが楽しいです。

Q どんな想いでラーメンを作っている？

A 地元の食材を使った、美波町にしかない唯一無二のラーメンを作っています。生産者が丹生こめて作った食材の味を生かすラーメンを作り、食べた人に笑顔になってほしいです。地元の漁師さんがとってきた魚、農家さんが栽培したネギ、地元の人にこんな美味しいものが自分たちの町にあるんだって誇りに思っています。

Q 今後の展望や取り組みたいことは？

A コロナの影響を受け、客足が遠のく時期がありました。一人でも足を運んでくれる人がいるならお店を開けて待っていたいという気持ちで営業していましたが、ただ待つだけではなく、徳島県内の果物を使ったバナナジュースやフルーツサンドの移動販売に挑戦しました。新しいことに取り組むのは大変ですが、藍庵で働く人もお客さんも「なにこれ？面白い！」って感じてもらって、食でハッピーになって欲しいので、アンテナを張り挑戦し続けていきたいです。

人口が減ってもにぎやかな町・美波町をつくるために、日々頑張る人や団体、取り組みなどの情報をお待ちしています！

▶ 役場政策推進課 (77-3616) もしくは ▶ QRコードの応募フォームからご連絡ください。

